

(4) 住まいの場 施設入所支援事業

① 方針

主として夕方から朝方において、日常生活で必要な支援（入浴、排泄及び食事等の支援）を行うとともに、創作的活動や生産活動による知識及び技能等を養うことにより身体機能及び生活能力の助長に努める。

② 支援内容

○食事・起床・就寝・洗面・排泄・入浴・洗濯などの基本的な生活習慣の確立や維持に向けて一人ひとりの状況に合わせた生活が送れるよう支援する。

平成 30 年度の取り組み

- ・利用者一人ひとりの思いや希望に寄り添えるように支援した。
- ・病状に合わせた、食事の実施
- ・内部研修や外部研修に参加し、専門的な知識や技術の向上に努めた。

○医務との連携を図り、健康管理・服薬管理を行い健全な生活が送れるようにするとともに不健康者等における早期の対応に努める。

*入所者の健康管理状況

○平成 30 年度 定期健康診断 9 月 21 日・H31.3 月 27 日

- ・利用者・職員とも全員実施することができた。その後、結果によるフォローも適宜対応する。
- ・検温や血圧測定、月一回の体重測定などにより利用者の健康を把握した。
- ・高齢化に伴う対応を支援と看護で連携して行う。

○腸内保菌検査 10 月 検便（全員） ・利用者・職員とも全員実施することができた。

○インフルエンザ予防接種（全員）

- ・手洗い・うがいの実施や消毒により、感染予防に努めた。
- ・嘱託医の往診年 4 回及び適宜通院し、連携を図り利用者の健康維持に努めた。
- ・嘱託医、協力病院以外の通院も実施する。

○個々の利用者の要望や困りごとに対して、その都度状況に応じて相談支援を行う。

- ・日常の困りごとや外出や余暇活動についての相談
- ・帰省についての相談

○外出支援サービス

- ・施設行事や月二回のさちのみ朝市での外出支援
- ・個人の希望による地域への買い物や美容室利用などの付添い
- ・旅行やスポーツ観戦、映画鑑賞等の外出支援



(5) 日中活動の場 生活介護事業

①目標

- ア. 作業や創作活動を通して、身体的機能及び体力の維持に努めるとともに、物を作る喜びを知り、働く意欲の向上を図る。また、物を大切に扱う心を育てるとともに、集中力や責任感・協調性を養う。
- イ. 生産的活動、創作的活動を一人ひとりが生きがいを感じられるような活動を創造し、活動を通して、責任感や仲間意識を育てていく。
- ウ. 生産活動のカリキュラムを増やし、活動収益を上げる中で、利用者が生き生きと活動に参加し、利用者の工賃向上を目指す。

②作業班の概要

ア. 作業班（平成 31 年 3 月 31 日現在）

施設名	作業班名	利用者	職員	主な日中活動内容
幸の実園 (34名)	ひまわり班	11	5	農作業・園芸他
	にじいろ班	8	6	アルミ缶作業・園芸他
	あおぞら班	9		内職・メモ帳作り・運動他
	こすも班	6		ビーズ製品・運動他
第二幸の実園 (48名)	あさがお班	10	6	農作業・手芸品他
	かがやき班 (1班・2班)	24	4	農作業・園芸・アルミ缶作業
	つばさ班	14	4	ビーズ製品・運動他

イ. 作業時間

- 9:00～11:30 (休憩 15分)
- 13:00～15:00 (休憩 15分)

ウ. 作業平均工賃（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

幸の実園	平均工賃	第二幸の実園	平均工賃
ひまわり班	2,631 円	あさがお班	702 円
にじいろ班	350 円	かがやき班 (1班・2班)	273 円
あおぞら班	611 円	つばさ班	154 円
こすも班	232 円		

③作業及び活動内容

○個々の体力、適性、能力に合わせた活動内容を提供し、各作業班での計画により実施する。

ア. アルミ缶リサイクル作業

○平成 30 年度実績

事業所	幸の実園	第二幸の実園
回収 (日) 頻度	一般家庭毎週水曜日・企業毎週火曜日 職員・保護者	企業他 10 ヲ所 毎週・職員保護者
回収量	夏; 約 600 kg 冬; 約 350 kg	夏; 約 700 kg 冬; 600 kg
納品 (日) 頻度	5 月・8 月・9 月・11 月・3 月	毎月 2 回

○幸の実園

○第二幸の実園

幸の実園	数量 (kg)	金額(円)	第二幸の実園	数量 (kg)	金額 (円)
4月			4月	405	40,905
5月	225	24,300	5月	300	32,400
6月			6月	336	36,288
7月			7月	299	32,292
8月	68	7,711	8月	202	21,816
9月	188	30,024	9月	100	7,344
10月			10月	501	54,108
11月	313	33,804	11月	210	22,680
12月			12月	165	17,820
1月			1月	318	33,868
2月			2月	175	17,954
3月	95	9,747	3月	321	32,934
合計	889	105,586	合計	3,332	350,409

○平成30年度の取り組み

- ・安定した作業を提供できるよう、各家庭や企業に呼びかけや職員、保護者への回収協力の強化。
- ・空き缶回収活動を通して、地域とのつながりを深めることができた。

イ. 手工芸品作り

○主な作業内容

- ・手作りコップ、ビーズアクセサリー作りなど
- ・紙すき（メモ帳）

○平成30年度の取り組み

- ・アクアワールド大洗や出張販売活動などで、売上向上に努めた。
- ・さちのみ手作り品を幅広くPRすることができた。
- ・作る喜びや達成感を味わうことができた。

ウ. 農作業

○主な作業内容

- ・栽培と管理；野菜や草花の苗づくり、定植・除草・収穫・運搬他
- ・加工品作り；干しいも、梅干し、など
- ・収穫業務他；よもぎ、トマト、白菜、もち米、そば、さつまいも他
- ・農作物の製品化；分別・計量・袋詰め・シール貼り・テープ止め他

○平成30年度の取り組み

- ・計画に伴った生産量とより高品質の物を多く生産できるよう取り組んだ。
- ・無駄のない作業効率向上の取り組みで、工賃向上に努めた。
- ・生産、加工したものをみんなで味わい、収穫の喜びを共有することができた。

エ. 内職

・生活介護利用者の安定した作業確保と工賃アップを目標に内職作業に取り組む。

○幸の実園：マーカーペンやボールペンの袋、箱詰め

○平成 30 年度実績（幸の実園）

月	金額（円）	月	金額（円）
4月	16,957	10月	33,705
5月	18,797	11月	24,675
6月	12,468	12月	4,620
7月	30,530	1月	20,265
8月	21,462	2月	15,099
9月	17,745	3月	18,081
		合計	234,404

○平成 30 年度の取り組み

- ・意欲を持って内職を行う利用者がふえ、スキルが向上した。
- ・達成感を味わうことができた。
- ・次年度は、さらに安定した作業内容を確保し、工賃向上を強化したい。
- ・新たな作業内容の検討

オ. 運動・歩行活動・クラブ活動（毎週水曜日午後）・音楽活動

○平成 30 年度の取り組み

- ・各班で、歩行や運動を行うことができた。
- ・次年度は、音楽活動やクラブ活動をふやし情緒の安定や気分転換を図っていきたい。
- ・高齢化や病状に合わせた個別支援の充実



農作業



内職作業

(6) 日中活動の場 就労継続支援 A 型事業

- ① 事業方針：利用者一人ひとりが自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、雇用契約に基づく就労の機会を提供する。
- ② 定員と支援サービス提供職員の配置状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

○定員 10 名 ○利用者 8 名

職員体制	幸の実園（定員 10 名）					
	員数	常勤		非常勤		常勤 換算
		専従	兼務	専従	兼務	
管理者	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
職業指導員	1			1		0.6
生活支援員	1	1				1
*直接処遇職員の配置基準	○ 職業指導員、生活支援員；1.3 以上					

○主な作業内容

- I. 干しいも（栽培・加工・販売） II. 加工用トマト（栽培・収穫・出荷）
 III. パン（パンの製造・販売） IV. 豆腐（豆腐の製造・販売）

③ 賃金の支払い状況

H29 年度	賃金支払対象者の人数	賃金支払額（月額）
4 月	8 名	683,382 円
5 月	8 名	715,222 円
6 月	8 名	797,608 円
7 月	8 名	920,590 円
8 月	8 名	866,860 円
9 月	8 名	655,124 円
10 月	8 名	1,008,917 円
11 月	8 名	937,814 円
12 月	8 名	873,698 円
1 月	8 名	872,054 円
2 月	8 名	789,443 円
3 月	8 名	859,313 円
合計	延べ人数 96 名	9,980,025 円

○平均工賃（月額） 103,959 円

○延べ時間 12,278 時間 時間額 813 円

④ 平成 30 年度の取り組みと今後の展開

- ・平成 30 年 4 月より一般就労 1 名（次年度、就労移行支援体制加算対象 1 年間）
- ・就業時間がふえ、一人ひとりの賃金向上へとつながった。
- ・次年度は、基本報酬の算定区分が 1 日平均労働時間 6 時間以上 7 時間未満となる。
- ・次年度は、賃金向上と農作物の管理を徹底する。

(8) ファーマーズマーケット・外部出品販売

○主な出荷品

《主な出店場所》

*JA ファーマーズマーケット（にじのなか・長砂他）

*アグリワールド 大洗・ナイスハートバザール等 *近隣小売店（かわねや・あかつ水産他）

※外部出品販売実績については、6～7 ページ参照

(1) 毎日出荷する品

① いなり寿司・赤飯・おこわ

・すべての商品は手作りで、ほとんど、さちのみ産のものを使用している。

② 杵つきもち

・さちのみ産のもち米を使用し、毎朝釜で直火炊きしている。

・杵と臼を使用し、昔ながらの手法で餅をつきあげている。

(2) その他の出荷品

① 定期的出荷品 梅干し・うどん・そば・クッキー・しいたけ

② 季節野菜の出荷

・さちのみ農場で栽培している季節野菜・もち米などを出荷している。

(3) 就労継続支援 A 型事業の一つのカリキュラムとして

・ファーマーズマーケット出荷にあたって多くの利用者が関わり、地域への社会参加の一歩として取り組んでいる。

(4) 今後の取り組み

・販路の拡大に取り組む。

・新しい商品や現在の商品の開発、工夫。



アグリワールド 大洗販売



ファーマーズマーケット搬入

(9) 相談支援事業所 幸の実園

○アセスメントにより把握された解決すべき課題等に対応するための最も適切な福祉サービス等の組合せについて検討を行い、サービス等利用計画を作成する。

○受付日及び受付時間

- ・受付日；月曜日～金曜日 但し、国民の祝日と12月29日～1月3日を除く
- ・受付時間；午前9時～午後5時

○人員体制

- ・管理者 1名
- ・相談支援専門員 2名

○実施地域；東海村全域

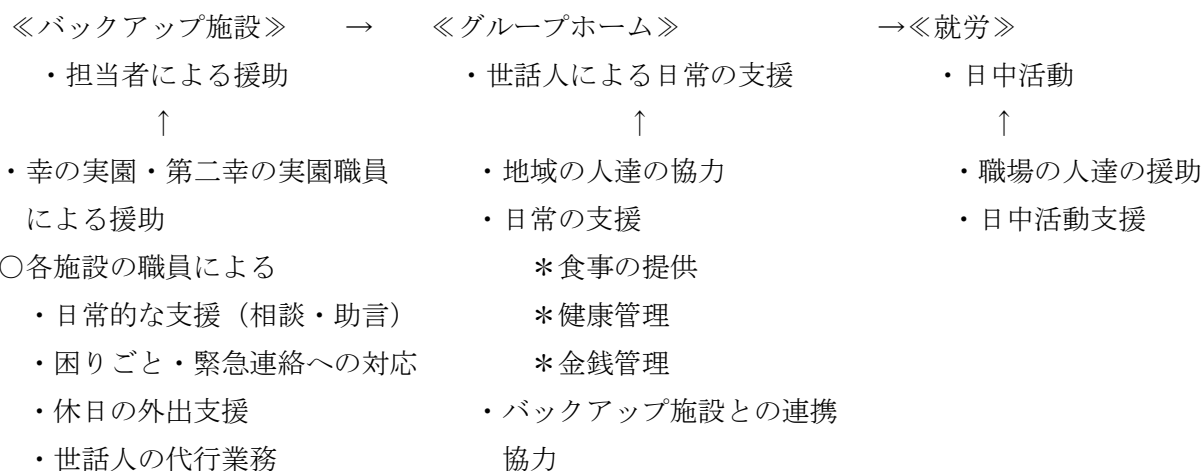
○平成30年度の取り組みと今後の展開

- ・幸の実園、第二幸の実園・グループホームの利用者を中心にサービスを提供している。
- ・在宅利用者の利用は3名 広くPRし増員につなげていく。

(10) 共同生活援助事業（グループホーム）

○社会福祉法人が主体となり、4人以上の障害者に専任の世話人及び、バックアップ施設の職員が協力体制を基本に利用者が地域生活を営むことができるように支援を行う。

(1) 支援体制



(2) グループホーム入寮状況（平成31年3月31日現在）

グループホーム名	入居者	開設年月日	備考
栄光寮	女性 5名	H4.4.1	・5名 施設へ通所
頌栄寮	男性 5名	H8.4.1	・1名 NK化成（株）へ勤務 ・4名 施設へ通所
雅歌寮	男性 4名	H17.5.1	・4名 施設へ通所
捜真寮	女性 5名	H17.11.1	・1名 イオン東海店へ勤務 ・4名 施設へ通所
清心寮	女性 4名	H23.4.1	・3名 施設へ通所 ・1名 就労継続支援B型事業所通所